

希望を失ったやもめ

2013年1月25日 アシェル・イントレータ

福音書に登場する素晴らしい信仰の人は、決して男たちではなく、女たちでした。それも行き着くところまで行き着いた女性たちだったのです。

テーブルの下でパン屑をなめる犬のごとく、自分を低くして、娘が救われることを受入れた、忍耐強い信仰を持ったカナン人の女がいました(マタイ 15:27)。彼女がやったように、私たちの子孫の救いと回復のパン屑を受取っていきましょう。

イエシュア(イエス)の着物の房に触った、長血を患っていた女(マルコ 5:30)がいました。他の弟子たちは何か起こったのか理解できないでいた一方、彼女は、肉体の癒しにおける神の力を引き出したのです。彼女が行なったように、私たちも癒しの力を受取っていきましょう。

イエシュアの足下で涙を流し、足に口づけし、そして髪の毛で主の御足を拭いた、罪深い女がいました(ルカ 7:38)。彼女は、宗教指導者たちが近付けなかった熱情の愛の深みで、主の心に触れたのです。私たちも彼女が示したような愛でイエシュアの心に触れるようになりましょう。

全ての世代の人が失望することなく祈り続けるようなモデルとなる、継続的な祈りを捧げていたやもめがいました(ルカ 18:1-5)。彼女がやったように疲れを知らない祈りが出来るよう練習していきましょう。

すべての富んだ者たちより遥かにまさった信仰を持った貧しいやもめは小さな2つのコインを捧げました(ルカ 21:2)。彼女がもっていた全てを超えた与える心をもって、私たちが持っているもの全てを捧げていきましょう。

復活の後、他の使徒たちは隠れていた一方、主を探し、主にすがりついたマグダラのマリヤ(訳注: 原文ではミグドル地方のミリアム)がいました(ヨハネ 20:17)。もう希望のないと思える状況で、主に対する頑迷な信仰を握りしめていきましょう。

神の力を受け止めるための鍵のひとつは、どうしようも無くなったやもめたちの身に自分自身をおき、私たちの信仰を100%、イエシュアに傾けることです。

ダビデの王座

ロニ・レジュワン

神はダビデをイスラエルの王として選び、エルサレムから支配する権威を与え、その玉座に就けました。ダビデの王座は、後に彼の息子ソロモン(シュロモ)へと継承されました。

I 列王記 2:12 -ソロモンは父ダビデの王座に着き、その王位は確立した。

ダビデの子であるソロモンが、王国をより大きく確立しました。イエシュアはダビデとソロモンの曾曾曾…孫ですが、彼らが想像もしなかった方法で王位を確立しました(II サムエル 7:12 - 19)。イエシュアはダビデの子として生まれました(マタイ 1:1、2:2)。永遠にダビデの王座に就くと定められ(ルカ 1:32-33)、その王国を限りなく拡大することになるのです(イザヤ 9:5-6)。弟子たちが、イエシュアに向かい、彼が「イスラエルのために国を再興してください(使徒 1:6)」と聞いたのは、このことが頭の中にあったのです。

ソロモンの戴冠式が再現されるのです。その詳細は同じことが起こるのですが、表現方法が少し違っています。

I 歴代志 29:23 -ソロモンは、YHVH(主)の設けられた王座に着き、父ダビデに代わり、王となって、栄えた。

エルサレムの王座は、I 列王記では「ダビデの王座」と表現されており、I 歴代誌では「YHVH の王座」となっています。これは、権威の2次元性および御国の2つの意味合いが、同じひとつの王座を表しています。その王座こそが、神の御子であり、ダビデの子でもあるイエシュアのために用意されているのです(ローマ 1:3-4)。

神秘的ですが、イスラエルの王座は、神の王座です。彼(主)の王座です。彼こそが「イスラエルの王」なのです。古代イスラエルにおけるすべての王は、神の王座に就きました。人間は神を否定しましたが、神は、罪にまみれた人間に王座を一時的に「貸与」したのです(I サムエル 8:7)。私たちが自分の犯した過ちに気付くように、神は私たちが選んだリーダーたちをお与えになったのです。

現代の政府は、人間の造り出したものであり、罪にまみれています。最終的には全ての政府は神の御国に取って代わられます(黙示録 11:15)。(宗教的なユダヤ人は1日に5回、「エルサレムにダビデの王座が早く建て上げられますように」と祈ります。)国家としてのイスラエルは、本物で永遠の御国への、仮設の1ステップなのです。

選挙の結果

選挙の驚くべき結果は、社会経済に根ざした政策を掲げ、ヤイル・ラピッドの党が 19 議席獲得したことです。彼らは、31 議席(予想を下回り)獲得した、ネタニヤフ首相の連合に参加するものと見られています。

2 番目の驚くべき結果は、ナフタリ・ベネットの右派シオニスト現代的正統主義的な党が 12 議席を獲得したことです。ハレディと呼ばれる超正統派の2つの正統を抑えて獲票したことは、ラピッドの政党のナンバー2 が多元的な世界観をもったラビであるということと合わせて、(ユダヤ正統派)宗教者似による支配や腐敗を縮小させる希望が見えて来たということではないでしょうか。

今最大の焦点は、だれが彼らと連立するかということです。ラピッドとベネットの双方は政治分野においてはまだ新人なのです。どうぞネタニヤフ、ラピッド、ベネットが連立を進め、政府の次期優先事項を決定するにおいて、知恵や正義に満ちたものとなるようお祈りください。

面白いことに比率は、国会 120 議席のうち、49 議席は新人で、正統派ユダヤ教徒 39 人、女性 27 人、アラブ人 11 人となっています。

エステル断食

カレンダーの 2 月 21 日(木)に伝統的な「タアニト・エステル=エステル断食」の日を書き込んでおいて下さい。イスラエルでは幾つかのコングリゲーション(教会)や祈りの家が、エステル書のテーマに則り、イスラエル、教会、国々のために執り成しの祈りと断食を行ないます。12 時間連続(イスラエル時間午前 6:00 から午後 6:00)の祈り、賛美と預言の時をもちます。どこであろうとも教会やシナゴグでの参加をお待ちしています。詳細は追ってお伝えします。

Youtube メッセージ

カンザスシティの世界祈りの家にて録画された、アシエルメッセージ「大患難時代における勝利」をお楽しみください。視聴するには[こちら](#)をクリックして下さい。